

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和7年11月20日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	互興運輸株式会社
所 在 地	〒231-0002 横浜市中区海岸通 4-23 原田ビル 3 階
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 徳 橋 三 郎
担 当 者 連 絡 先	電 話：045-212-3381
	メー ル：tak.iida@gokoh.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.gokoh.com

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和25年3月に創業しました港湾運送事業者であり、横浜・東京・千葉の港湾を中心に海貨業・一般港湾運送事業・一般貨物自動車運送事業・通関業・倉庫業等を営んでおり、みなとSDGsパートナー登録制度へは第2回より登録させていただいています。
--





3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	業務のデジタル化を進め、データを効率的に・共有化していくなど、社内でDX化の手法を取り入れることで生産性の向上を計り時間外労働を改善します。	時間外労働時間の短縮 現行：22.6 時間/月/人 目標：20 時間/月/人
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	コピー・プリントの枚数の削減に取り組む	目標：全社コピー用紙 20%の削減
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済		

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	事業所課員との意見交換の場を、年1回設けて実施している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	企業行動規範の中で人権を尊重すると定めており、総務部が中心に全社にルール・情報の提供、相談窓口となっており取り組んでいます					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	月毎に社員一人一人の労働時間を集計しており、過度な労働時間となった社員については、部門長より業務の内容と改善策を聴取し、改善する取り組みを行っています								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	定期的にヒアリングしながら本人に確認しています				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	作業現場では、早朝と午後の二回で業務内容・注意事項の指示共有を行い、また危険予知活動報告により課員の注意意識を高める活動を行っています 安全衛生委員会では、年4回職場を視察して問題点があれば指摘しています。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	多様な人材が活躍できるよう、適宜に時差通勤、テレワーク、フレックス勤務や適切な職場への人員配置に取り組んでいます					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	現場においては、フォークリフトやクレーンといった講習への参加、事務職においては通関士や国際複合輸送士の講座参加を行っています				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	年に2回、上司・部門長による評価を実施しています					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	倉庫作業において夏場の熱中症対策として、電動ファン付ジャケットの支給・給水・温度計などの設置、冬場の防寒着支給を通して生産性を維持・向上させる取り組みを行っています			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	廃棄物の分別回収による資源管理や梱包材の再利用等3Rの推進に取り組んでいます											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	照明器具のLED化や適切な使用、フォークリフト・トラック・業務用車両の消費燃料と走行距離・稼働時間の把握し、消費効率の向上に取り組んでいます							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	コピー枚数の削減・燃料消費率・電力使用率を数値化することで温室効果ガスの排出量の抑制に取り組んでいます							7.2 7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7						12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	定期的に自社倉庫の外周で実施している清掃活動を 照会しています												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2							13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	取り扱う貨物では、施設の安全確認・入庫時の外装確認・入退出者の管理などを、事務処理では処理の手順をマニュアル化することで製品・サービスの安全制を確保する取組みを行っています			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	AEOの認定・承認により、適正な貨物保管、適切な通関業務を行うための手順を定め、実施状況を内部監査することでサービスの品質向上に努めています									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	税関が認定・承認したAEO業者としてセキュリティ対策の中で輸出入者の評価、貨物の取扱い手順の中で不審の気づき、社会悪に結びつく改造・不正混入の無いことを確認する取組みを行っています	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	自社倉庫の改修などにおいて、加入している地域連絡協議会へ計画書を提出している				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	社会奉仕団体へ所属し、その趣旨に沿った取組みを行っています。また毎年、1月に横浜市こども青年局を通じて色鉛筆などを施設に寄付する活動を継続して 行っています				4							11			14	15		17

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				
28	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	企業行動規範や環境方針、SDGs達成に向けた具体的な取組みを各事業所で閲覧できる環境を整えています。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	AEOの取得による法令遵守の社内体制が構築されており、それを維持していくための社員への教育・研修も計画を立てて継続敵に取り組んでいます																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																	16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	AEO総括部門による社員へのCP教育、CP委員会、安全衛生委員会による職場環境や安全衛生の確認、危険予知・分析・改善を行っています																16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	会社としての環境方針・企業行動規範を定め、社員一人一人が責任感をもって企業活動するよう教育にも取り組んでいます																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	各事業所に災害時の非常食や飲料水を配備、事故発生時の社内・社外への連絡体制を整備、自然災害に対する防災手順を事業所毎に策定しています									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。